

VI-3 感染性廃棄物の取り扱い

1 定義

(環境省：廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル，平成24年5月より引用)

- (1) 廃棄物は感染性、非感染性廃棄物に区分けする。
- (2) 感染性廃棄物とは、「医療機関から発生する廃棄物のうち、人に感染症を生じさせる恐れのある病原微生物で汚染されていると思われる廃棄物」と定義される。
- (3) 感染性廃棄物は「形状」「排出場所」「感染症の種類」の観点から判断する。
- (4) 血液等が付着したものは感染性廃棄物として取り扱う。
- (5) 非感染性廃棄物は可燃物、不燃物に区分する。
- (6) 非感染性であっても、鋭利なものは感染性廃棄物と同等に取り扱う。
※ 注射針、メス、ガラス製品（破損したアンプル・バイアル・ガラスくず）
- (7) 消毒等により感染性を失わせても感染性廃棄物と同様に扱う。
- (8) 抗生剤や抗癌剤、他医薬品や消毒薬等の瓶・缶類はリサイクルできない。

2 処理方法

(1) 感染性廃棄物の分別

① 黄色ハザード

- ・ 鋭利器材、液体等で貫通する危険性のあるもの
- ・ 病原性の高い物は貫通の危険性に関わらず黄色ハザード容器へ廃棄する

② オレンジハザード（ダンボール製感染性廃棄物容器）

- ・ 貫通の危険性の少ないもの

(2) 感染性廃棄物容器の設置場所

① 黄色ハザード

- ・ 処置室・汚物室に設置する。
- ・ 病室には設置しない。

処置室用	点滴のミキシングに使用した注射器・針・アンプル等 ※ 処置室に設置する場合は、注射薬混合調製台から1m程度離して、設置する。 ※ 処置室の携帯型針廃棄容器には患者に使用した鋭利物は入れない。使用する時にのみ、注射薬混合調整台へ置く。
汚物室用	血液・体液等で汚染した廃棄物、患者に使用した感染性廃棄物

② オレンジハザード

- ・ 汚物室に設置する。
- ・ 病室内で使用した吸引チューブや防護用具に限っては、病室内に専用の廃棄容器を用意し廃棄しても良い。ただし、その都度、もしくは各勤務終了時にビニール袋を交換し、汚物室のオレンジハザード容器に廃棄する。（一時的な設置）。

- ##### ③ ICU系集中治療室、救命センター、外来、手術室、検査・放射線部門等は、上記の他、必要と判断される場所にも黄色ハザード・オレンジハザード容器を設置する。

3 廃棄時の注意事項

(1) 黄色ハザード

- ① 廃棄物が7~8割になったら交換する。
- ② 容器より廃棄物がはみ出さないよう廃棄する。
- ③ 容器のなかに手を入れたり、廃棄物を素手で押しつぶしたりしない。
- ④ 容器のバイオハザードマークは正面に向けて設置する。
- ⑤ 密閉した容器は、各フロアーの回収ホールで一時保管する。
- ⑥ 未使用・使用中・使用済みの容器は同じ場所には置かない。

(2) オレンジハザード

- ① 廃棄物が7~8割になったら交換する。
- ② 容器より廃棄物がはみ出さないよう廃棄する。
- ③ 容器の中に手を入れたり、廃棄物を素手で押しつぶしたりしない。
- ④ 容器のバイオハザードマークは正面に向けて設置する。
- ⑤ 密閉した容器は、各フロアーの回収ホールで一時保管する。
- ⑥ 未使用・使用中・使用済みの容器は同じ場所には置かない。

(3) 注射薬（輸液ボトル・バイアル・アンプル）

- ① アンプルは、黄色ハザード容器に廃棄する。
- ② バイアルは不燃性廃棄容器に廃棄する。
 - ※ バイアルに残液がある場合は、黄色ハザード容器へ廃棄する。
 - ※ 抗癌剤・ホルモン剤は感染性廃棄物として処理する。
- ③ 輸液ボトルは不燃性廃棄物として処理する。ただし、以下の輸液ボトルは黄色ハザード容器に廃棄する。
 - ・ 抗がん剤と抗がん剤を混入した輸液ボトル
 - ・ 輸血用血液製剤・血液等で汚染した輸液ボトル
 - ・ 生食キットH（バイアルは外して分別する）
- ④ ミキシング時の注射針廃棄物は処置台に針捨て容器を一時設置し廃棄する。
- ⑤ 使用した輸液ラインが接続してある場合は、ボトルより輸液ラインを外し、ボトルは不燃性廃棄物に、輸液ラインは黄色ハザード容器に廃棄する。ただし、上記②に該当する輸液ボトルは輸液ラインを接続したまま黄色ハザード容器に廃棄する。

(4) 紙オムツ

- ① 便、血液等が付着したオムツは、感染症の有無に関らず感染性廃棄物とする。
- ② 陰部洗浄に使用したオムツや尿汚染のみのオムツは、可燃性廃棄物として処理する。

4 その他

- (1) 廃棄物に患者名が記載されていることを理由に、感染性廃棄容器に廃棄しない。
- (2) 個人名が記載されているものは裁断し、所定の廃棄容器に廃棄する。（リストバンドなど）
- (3) 点滴ボトル等、患者名が記載されている廃棄物は、患者名のラベルを取るか、マジックで名前を消して所定の廃棄容器に廃棄する。

